

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との面談

2. 日時：令和4年10月12日（水）13：50～15：30

3. 場所：原子力規制庁2階審議官室

4. 出席者：

原子力規制庁

長官官房

森下審議官

原子力規制部

原子力規制企画課 金城課長、中崎課長補佐

検査グループ核燃料施設等監視部門 熊谷統括監視指導官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド統括本部 本部長代理 他1名

5. 要旨：

○湧き出し核燃料物質や利用実態のない核燃料物質等を集約して管理する仕組みを構築する
とした場合の課題等について、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機
構」という。）と面談を行った。

○原子力機構からは、まずは、関係省庁等の関係者が集まって議論する場を設け、この場で課
題の優先順位を考慮しつつ、議論を進めていくことが重要であり、原子力機構としてもこれ
に協力を行っていく旨の発言があった。

○原子力規制庁からは、本日の面談を踏まえ、関係省庁と議論の場の設置に向けて努力する旨
伝えるとともに、本件は利用推進省庁が主体的に取り組むことが必要との認識を伝えた。

6. 配布資料：

資料 核燃料集約に関する打合せにあたり

以上